

製品名: リン酸化 Smad1 (Ser463/Ser465) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe02875

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 52 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMAD1 SMAD1; BSP1; MADH1; MADR1; Mothers against decapentaplegic homolog 1; MAD
別名	homolog 1; Mothers against DPP homolog 1; JV4-1; Mad-related protein 1; SMAD family member 1; SMAD 1; Smad1; hSMAD1; Transforming growth factor-beta-signaling protein
遺伝子 ID	4086
SwissProt ID	Q15797
免疫原	ヒト Smad1 の Ser463/Ser465 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

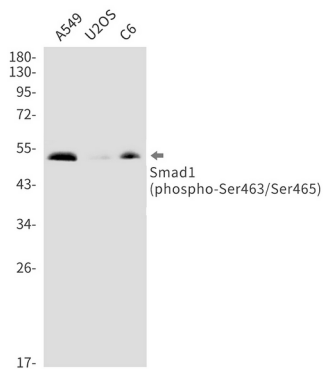
背景

BMP（骨形成タンパク質）1型受容体キナーゼによって活性化される転写調節因子。SMAD1は受容体制御性SMAD（R-SMAD）である。SMAD1/OAZ1/PSMB4複合体は、CREBBP/EP300リプレッサー-SNIP1の分解を媒介する。骨形成タンパク質（BMP）を介した心臓特異的遺伝子発現において、SMAD4およびYY1と相乗的に作用する可能性がある。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



Phospho-Smad1 (Ser463/Ser465) 抗体を使用した A549、U2OS、C6 溶解物中の Phospho-Smad1 (Ser463/Ser465) のウエスタン ブロット分析。